

33rd IMAGE FORUM FESTIVAL East Asian **Experimental** Competition

東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション

「東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション」は、ともすれば西洋中心主義的な視点で語られがちな映画史や前衛芸術史において、 東アジアという視点から改めて映像史及び映像文化の現在を捉え直す試みとして、2018年にリニューアルした公募部門。日本、中国、 韓国、台湾の出身または在住作家による、2018年以降に制作された映像作品が対象。本年度は446作品の応募があり、厳正なる 審査のもと、22作品がノミネート選出され、上映される。本フェスティバルの東京開催期間中に行われる最終審査によって、9月23 日の授賞式で入賞5作品と観客賞を発表。観客賞は会場に設置された投票用紙に書き込むことで参加が可能、熱い一票を!

東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション1

IF 9/14 15:45 SP 9/21 10:40 名古屋 11/8 14:00





にいやなおゆき/デジタル/カラー/36分/2018

ある木造アパートに住む主人公と奇妙な隣人たちとの騒動 が、ミニチュア、イラスト、切り絵、アニメーションなどバラエ ティ豊かな技法を使って描かれるなんでもありのカーニバル 的作品。主人公は突然未来からやってきた乙姫と名乗る女 性と出会い、同棲することになるのだが…。アニメーション制 作の他、映画の特殊美術も手がける作者による快作。

Night Horse

日本

ドイツ、台湾





イエルン・バンデルシュトック/デジタル/カラー/19分 2019

眠る馬が映る眼球? 闇夜を覗く穴? それとも地球のダーク サイド? 本作品は、セキュリティ化されていないためにオンラ イン上で誰もが見られる、幾多のライブ監視カメラの映像か ら作られたファウンド・フッテージ作品。実在する風景の集合 が、現実には存在しない、ある一夜を見る者の脳裏に映す。 音楽は電子ドローンの大家エリアーヌ・ラディーグ

目をとめる価値のあることは目の前では起きない



キム・ジョン/デジタル/カラー/13分/2018

校内の鉄工室で課題制作に取り組む女子学生ミンジュと そ れを手伝う男子ジホン。ミンジュの噂に気を揉むジホンは気を 遣って話しかけるが、ミンジュはにべもなく黙々と作業を進めて タイトルが意味するのは"現実の凡庸さ"だが、これか ら映画を見る観客にとっては示唆に富んだ作者の宣言であ る。カメラのフレーム外の演出が冴えるミニマルな室内劇。

CASTLE





宮嶋龍太郎/デジタル/カラー/5分/2019

闇の中を一人の侍が堀を渡り、石垣を登って城に侵入しよ うとしている。やがて炎に包まれる城。この城の設計者の夢 なのか。墨絵のような流麗な線がメタモルフォーゼを繰り返 して、夢幻のような光景を展開させていく。前作『AEON』で パリ国際アニメーション映画祭などで受賞した宮嶋龍太郎 が戦国時代を舞台に新しい境地を開拓している。

カフェ・トーゴ



ムスクィーキ・ジーイング、グレゴール・カスパー/デジタ ル/カラー/27分/2018

アフリカ植民地支配の功労者として悪名高いカール・ペータ -スらの名を冠した、ベルリン市内の街路名の変更を求める 活動家のレクチャーや 植民地主義者たちが登場するコミ カルな劇中劇が2面マルチ映像で展開。織田信長の黒人 家臣弥助やナチスのプロパガンダ映画へ言及しながら、 ポストコロニアルな視点で歴史認識の再形成を試みる。

東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション2



IF 9/16 10:30 SP 9/21 13:20 名古屋 11/8 16:30



チェン・シー、アン・フー/デジタル/カラー/6分/2018

切り絵を使ったアニメーションで国際的に高い評価を得て いるチェン・シーとアン・フーによる作品。「革命は、客を呼ん で宴会を開くことではない」という毛沢東の言葉が壁に掲 げられた食堂で、蝿を追い払う店員と客たちの姿を戯画的 に描く。文化大革命後の中国を舞台にした風刺に満ちた

美しくあいまいな日本の私たち



日本



トモトシ/デジタル/カラー/19分/2019

作者自身による6つの異なったパフォーマンスを撮影した作 品。いずれも作者が公共空間で仕掛け、日常のちょっとした 行動から日本人が無意識に従っている「ルール |を浮き彫り にしようとする。作中で人々が取る行動は、時にユーモラス で、「あるある」と思わせるものだが、その積み重ねでできた 巨大な無意識の集合体に見るものは何を感じるだろうか。

何度でも忘れよう



しばたたかひろ/デジタル/カラー/10分/2019

愛らしいクマのぬいぐるみの片腕が時々外れたり、バッタの 脚をちぎったりと不穏な空気が流れる。子供らしさの象徴と も言えるぬいぐるみが、親や社会に対してささやかではあるが 辛辣な抵抗を試みる。 実写のコラージュを交えたアニメー ション。2019年アヌシー国際アニメーションフェスティバル 学生コンペ部門ノミネート作品。

つちのこもりた

日本



宇田敦子/デジタル/カラー/10分/2018

「おーい! キンタマもってこい!」。キンタマとは垂直を確認す る道具「下げ振り」のこと。建設業界で女性が活躍するため に設立された「けんちくけんせつ女学校」の校長、籠田淳子 が男社会の現場で体験したエピソードを面白可笑しく小話 風にまとめた短編集。牧野伊三夫のイラストを、IFF99大賞 『福田さん』の宇田敦子が抑制された動きと絶妙の間合い で動画化した。

同じ月を見つめて





大学院生の作者が実際に働いていた養鶏場についてのド キュメンタリー。彼はそこで外国人技能実習生に対する理 不尽な扱いを目の当たりにする。親しくなったミャンマー人の 「タンさん」との関係が一つの焦点となるが、距離が近いこと で、揺れ動く作者の思いが隠されることなく吐露されて、一刀

両断できない複雑な構図も浮き彫りにされていく。

竹村望/デジタル/カラー/54分/2019



キム・ジハ (研究者、映画キュレーター/韓国)



. 現代美術家/日本)



授賞式

9/23 18:40(レプログラム上映前)

大賞/1点 寺山修司賞/1点 優秀賞/3点 観客賞/1点

賞金30万円、賞状 賞金10万円、賞状 賞金3万円、賞状 営状

東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション3 4作品92分

IF 9/14 13:00 SP 9/22 10:40 名古屋 11/8 19:00

SPLASH

中国



シェン・ジエー/デジタル/カラー/9分/2019

両腕のない男がプールに飛び込む。なぜ男には腕がないの ールから立ち上がる飛沫に彼の過去が隠されている。 カットごとに高まる緊張感。シンプルな描画と、最小限の動き というミニマルな演出が見事に効果を発揮し、腕のない男の 物語をドラマチックに描いている。2019年ベルリン国際映 画祭短編部門出品作品。

モルティーザーズほど素敵なものは無い

香港



モルティーザーズはチョコレート菓子の商標。日堂生活のス トレスと必死に闘って心の平静をなんとか保ってきた、互い に見知らぬ4人。彼らが鉢合わせた駐車場で、この菓子の自 販機にちょっとしたトラブルが起こる・・・。逃げ出したい現実と 誰もが折り合いをつけて生きている現代社会を透かし見る ような、張り詰めた空気のオフビートコメディ。

ウォン・ヒューツェン/デジタル/カラー/15分/2019

ドイツ



国本隆史/デジタル/カラー/18分/2018

作者が住むドイツ・ブラウンシュバイクに、夏の間だけ姿をみせ -ランド人のホームレス、ロベルト。汚い身なりで物乞いを する彼の前を誰もが無関心を決め通り過ぎるなか、撮影を通 してロベルトと素地のまま向き合う。「コブラに噛まれた」など 突飛な話をする個性的なロベルトと、常に自然体の作者の掛 け合いが楽しい。二人が出会った三度の夏の記録。

神話少年ミカド

日本



伊藤早耶/デジタル/カラー/50分/2018

文明崩壊後、世界は「祭祀王ミカド」によって統治されていた ・。 耽美的な美少年が、政治的に抑圧された世界で煩悶する グロテスクなドローイング作品『へいたいがっこう』でIFF12寺 山修司賞を受賞した異端的アニメーション作家、伊藤早耶。 天皇制のイメージをディストピアSF的世界観に移植し、官能 的でフェティッシュなジャポニズムを目くるめく展開する野心作。

Air, ratio

東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション4 4作品112分

チェコ



イ・セウン/デジタル/カラー/5分/2019

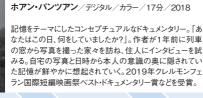
独特なイラストレーション世界の中を風が吹き続ける。家、人 間、宇宙などをモチーフとしたシンプルな鉛筆画によるアニ メーション。印象的な轟々と響く風の音。それは原子以下の 極小の世界から宇宙まで、見る者の想像力を掻き立てる。 2018年ソウル実験映画祭(EXiS)などで上映されたチェコ 在住のアーティスト、イ・セウンの作品。

去年列車が通り過ぎた時に

フランス

IF 9/14 10:30 SP 9/22 13:20 名古屋 11/9 11:30

日本



鬼とやなり



古い民家の中、物陰を小さな姿が走り抜ける。家が理由もな く鳴り出す怪異である"家鳴り"を人形アニメーションで表現。 欄間から差し込む電燈の光、陶器に反射する光の艶など、 実際の家屋をセットとして使うことで日常の延長線上にある "妖怪"の雰囲気が醸し出されている。前作『ケアンの首達』 が各国の映画祭で高い評価を得た副島しのぶの最新作。

金太と銀次

日本



ゆるい関西弁トークと壮大なロングショットで、映画制作の方 法論から軽やかに逸脱し、ユーモラスで唯一無二の世界観を 提示し続ける浪速の映画デュオ、大力+三浦コンビの最新 作。森の奥で親友同十のクマとロボットが散歩する、完全ノー CGのSFロードムービー。とりとめなく続く会話は漫才のように

大力拓哉、三浦崇志/デジタル/カラー/84分/2019

可笑しく、時に哲学的ですらある。

東アジア・エクスペリメンタル・コンペティション5 4作品95分

日本

IF 9/15 10:30 SP 9/22 16:00 名古屋 11/9 14:00

台湾、ポーランド



キヤマミズキ/デジタル/カラー/7分/2019



幼い目に映る、海のように広い湯船。向こう岸に見えるのは ・。『かえりみち』に続いて2年連続ノミネートとなったキヤマミ ズキの新作。幼い頃母親と通った地元の銭湯の記憶を、当 時は知らなかった、母親が在日韓国人であることに思いを馳 せて描いている。ガラス板に油彩で描いては消して撮影する

ちよ

日本、イギリス

島田千絵美/デジタル/カラー/12分/2019



85歳になる作者の祖母が16ミリフィルムによる美しい映像 で捉えられている。90度に曲がった腰、皺が深く刻まれた横 顔、柔らかな光に包まれた木々、縁日や盆踊り、揺らめく迎え 火…。フィルム・マテリアルが持つ豊かな色彩が極限まで引き 出されたフッテージはどれもかけがえのない輝きを放つ。英キ ングストン大学大学院実験映像専攻の修了作品。

THE DAWN OF APE

日本

カロリナ・ブレグワ/デジタル/カラー/72分/2018



水江未来/デジタル/カラー/4分/2019 『2001年宇宙の旅』から引用されたタイトルが示す通り、チ ンパンジーに鑑賞させる目的で作られたアニメーション。様々 なタッチのカラフルな線と形と色の躍動感あふれる動きに圧 倒される。今年のアヌシー国際アニメーションフェスティバル 短編コンペ部門選出の最新作で、日本の抽象アニメーショ ンの第1人者である水江未来がこれまでに試みた様々な手 法を総動員した注目作。



広場の茂みに中にある、忘れられていた彫刻がある日突然歌 い出した。小さなハミングは次第に明瞭になり「あなた方に質 問があります」と繰り返す。住民は美しい歌声に喜んだが… ヴェネチア・ビエンナーレなど各国で作品を発表しているカロリ ナ・ブレグワによる寓話的映画。今年の恵比寿映像祭で9 チャンネルのインスタレーション版が話題を呼んだ。

現代ポルトガル映画:語りの霊性

アラビアン・ナイト 3作品381分

アラビアン・ナイト ミゲル・ゴメス/デジタル/381分/2015(ポルトガル)

『熱波』のミゲル・ゴメスが贈る6時間半の目眩く物語、ついに東京初上映

深刻な危機的状況にあるボルトガルを、フィクションの力で癒すことは可能か…? ある映画監督が、暴虐なる 王を飽きさせぬようにと物語を紡ぎ千夜にわたり伽をしたとされる、シェヘラザード姫を召喚する…。シドニー映 画祭、セヴィージャ・ヨーロッパ映画祭で最優秀作品など受賞歴多数。

アラビアン・ナイト 第1部「休息のない人々」:125分 SP 9/23 10:40





F2 アラビアン・ナイト 第2部「孤独な人々」:131分 (SD) 9/23 13:20



F3 アラビアン・ナイト 第3部「魅了された人々」:125分) (SP) 9/23 16:00



時間の木



時間の木 アンドレ・ジル・マタ/デジタル/104分/2018(ポルトガル) ポルトガルの新しい才能アンドレ・ジル・マタ監督作品、待望の日本初公開

ユーゴスラビア内戦下のとある村、真夜中に砲声が響いている。水を汲みに行くために家を出た老人は犬を連 れて夜の河を下り、出会った少年に秘密を打ち明ける。ハンガリーの鬼才タル・ベーラのもとで映画制作を学ん だアンドレ・ジル・マタが師匠ゆずりの長回しで2つの戦争の記憶を描く。映画を見る体験がそのまま登場人物2 人の記憶に同化していくかのような驚異的な作品。2018年ベルリン国際映画祭フォーラム部門上映作品。

30歳のとき、世界を廻った 1作品110分



IF 9/16 13:00

IF 9/14 21:15 SP 9/20 16:00



30歳のとき、世界を廻った アヤ・コレツキー/デジタル/110分/2018(ポルトガル)

古い日記と写真で構成された、ある老人の若かりし頃の旅の想い出。父の語りと娘のカメラ が紡ぐ、親密なパーソナル・ドキュメンタリー

ジローは1970年、30歳の時に生まれ育った日本を飛び出し、ソ連、ヨーロッパ、中近東、そしてアメリカと 世界一周の旅をした。自分を変えたこの旅について、父ジローが30歳になった娘に優しく語りかける。娘は、 ガーデニングをする現在の父の姿を16ミリフィルムで記録する。そこに挟みこまれる古い写真と旅の想い出 が綴られた日記。現在の生活と過去の追憶が、色鮮やかさに交感する。2019年ロッテルダム国際映画祭 ブライト・フューチャー賞受賞作品。

インスタレーション



『恥毛と惑星』展示イメージ



『MOWB』展示イメージ

手作りのミニチュアと映像装置で映像メディアをユーモラスに批評してきた伊藤隆介の新作が今年も 予制・パンペーン、ことでは多数には、ではアントッと、こうからは出いるだけが達用が利用がプサインを撮っているというでは、散後の日本家屋に突如鎮座するようになったテレビ受像の異質感を再現させることで、イメージと記憶の化学反応を目論む。油原和記の『MOWB』はヘッドマウントディスプ レイを装着して鑑賞するVR作品。へその緒で繋がったまま成長する母娘の物語が360度の天球で展開する、全て手描きのエクスパンデット・アニメーション。

恥毛と惑星 伊藤隆介/液晶ディスプレイ、ミクストメディア/2019(日本)

油原和記/VRアニメーション/2019(日本) MOWB

ポルトガルの女 1作品136分



ポルトガルの女 リタ・アゼヴェード・ゴメス/136分/2018(ポルトガル)

細部にわたって作り込まれたデジタル撮影がフランドル派の絵画のような鮮烈な印象を残す、 ロベルト・ムージルの小説を原作とするスタイリッシュな時代劇。

戦争に生きる夫と離れること10年余。北イタリアの崖上の古城で読書し、歌を唄い、踊り、森を散歩して過ご す若い公爵夫人。周囲の人々はそんな彼女の孤独を憂い、その古城を墓場とみなす。しかし、彼女は譲ら ない。この生活は選び取ったものなのだと一 一。現代ポルトガルの重要作家リタ・アゼヴェード・ゴメスによる 作品。ラス・パルマス国際映画祭最優秀賞受賞。



カヴァルケード ヨハン・ラーフ/35ミリ/5分/2019(オーストリア)

ヨハン・ラーフ/デジタル/99分/2017(オーストリア)

映画史に残る550本の作品の星空を写したショットのみで構成される、ファンタスティックな映像体験。

人類にとって絶対で不変であるイメージ、星空。映画史における星空シーンを時系列に並べることで、それぞ れの時代にどのように映画が星空を描いていたかが見えてくる。オーストリアの最注目映像作家、ヨハン・ラ -フの長編デビュー作は、映画史に残る550作品から引用された星空のショットのみで構成。本作には終わ りがなく、最新映画から星空のフッテージが加わって積み重ねられていくという、歴史的であると同時に現代 的であるというコンセプトを持っている。

┸ ティーチ・イン ヨハン・ラーフ 9/15 21:15の回

特集:ジョイス・ウィーランド



SP 9/23 18:40 名古屋 11/10 19:00





アスパラガス

夢と創造力が渾然となって渦巻く強烈なアニメーションで知られるカルト作家スーザン・ピットの追悼上映。

アート・アニメーション映画の金字塔的作品『アスパラガス』で知られるスーザン・ピットが今年6月に亡くなっ た。目が眩むような極彩色のドローイングで展開されるマジック・リアリズム的な物語には、個人の創造性の無 限の可能性を感じさせる。2017年のニューヨーク近代美術館MoMAでの個展、また今年のザグレブ・アニ メーション映画祭での生涯貢献賞受賞など再評価が進んでいる最中であった。

スーザン・ピット/35ミリ(16ミリ版)/18分/1979年(アメリカ) ジェファーソン・サーカス・ソング スーザン・ビット/16ミリ/16分/1973年(アメリカ) ジョイ・ストリート スーザン・ビット/35ミリ/24分/1995年(アメリカ) エル・ドクトール スーザン・ピット/35ミリ(デジタル版)/23分/2006年(アメリカ)

6作品64分



ウォーターサーク

カナダの女性アーティストとして初めてナショナル・ギャラリーで個展が行われたウィーランド の映像作品、本邦初の特集上映

「ジョイス・ウィーランドの映画は一度見ると忘れられない。政治映画として他に見当たらない最上級なものだと 言えるだろう」―― ジョナス・メカス

絵画や映画、キルティングなど、様々なメディアで作品を発表したウィーランド。フェミニズム、ナショナリズム、エ コロジーというテーマを、一貫して個人の視点から映画作品に取り込んだ最初期の重要作家である。

ーション:ローレン・ハウズ(カナディアン・フィルムメーカーズ・ディストリビューション・センター、エグゼクティブ・ディレクタ セイルボート ジョイス・ウィーランド/16ミリ/3分/サイレント/1967(カナダ) キャットフード ジョイス・ウィーランド/16ミリ/14分/1967(カナダ) 北アメリカにおけるネズミの生活と食事 ジョイス・ウィーランド/16ミリ/16分/1968(カナダ) ジョイス・ウィーランド/16ミリ/11分/1973(カナダ) 連帯 ハンドティンティグ ジョイス・ウィーランド/16ミリ/6分/1967-68(カナダ)

ジョイス・ウィーランド/16ミリ/14分/1965(カナダ)

👤 ティーチ・イン ローレン・ハウズ 9/18 21:15の回

デルフィーヌとキャロル 1作品68分



IF 9/20 21:15 IF 9/23 21:15



女優デルフィーヌ・セイリグとビデオ・アーティストのキャロル・ロッソプロスの同志的友情。こ 新しいメディア=ビデオを使い状況にいかにしなやかに対峙したかを検証するドキュメンタリー 『去年マリエンバードで』、『ロバと王女』、『夜霧の恋人たち』などで知られる神話的女優デルフィーヌ・セイリ グと、フランスで2台目(1台目を手に入れたのはジャン=リュック・ゴダール)のビデオカメラを手に入れ、やがて フランスにおけるビデオアートのパイオニア的存在となったキャロル・ロッソプロスの出会いを描く。二人は協 同し1970年代のフェミニズム運動の只中にビデオカメラを手に飛び込んでいく。その活動は世界の支配的

デルフィーヌとキャロル カリスト・マクナルティー、出演:デルフィーヌ・セイリグ、キャロル・ロッソプロス、マルグリット・デュラス、シモーヌ・ド・ボーヴォワール、シャンタル・アケルマン、ジェーン・フォンダ他/デジタル/ 68分/2019(フランス+スイス)

ウォーターサーク

ゴミ箱キッドの物語 1作品100分



「オーバーハウゼン宣言」の中心人物であるライツと、ドイツ最初のフェミニスト映画作家である シュテックルによる、1968年の政治的熱狂を受けて作られた、ユーモアに溢れた"反一映画"。 赤いドレス、赤いタイツに身を包んだ「ゴミ箱キッド」。彼女はいろいろなことに首を突っ込み、危険に陥る。既存の

映画のあり方に疑問を抱いたエドガー・ライツとウラ・シュテックルが制作した25本の短編映画集。どの短編を上 映するかはメニューから観客が選んで決める。

ゴミ箱キッドの物語 エドガー・ライツ+ウラ・シュテックル/16ミリ(デジタル版)/100分(セレクション)/ 1971 (ドイツ) 「ゴミ箱キッドメニュー」

アル・カポネを通した自由 老人たち ゴミ箱キッドの少年期 デパートの泥棒 ゴミ捨て場のシンドローム 特に良い面親 清潔はお家のデコレーション 持って行っちゃいけない 観客へ

猫は蚤持ち ゴミ箱小僧きれいで丸くなる 多少の幸せ ゴミ箱キッド、王に会い吊るされる ゴミ箱キッド、女王にお伽話をする ゴミ箱キッド、怪しいゲームを学ぶ ゴミ箱キッド、ノーの言い方を学ぶ

ーモット、踊りを学ぶ 全ての力を吸血鬼に

な常識を揺るがす、非妥協的、不遜で過激なユーモアに溢れるものだった。

観客へ ゴミ箱キッドは良い人たちとご馳走を共にしたい ゴミ箱キッド、ゴミ箱小僧を溺れさせる ゴミ箱キッド、王のために乗る 森の中の銀行口座

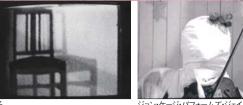
魔女は燃えるべき

フィルム・メーカーズ・イン・フォーカス

飯村隆彦 飯村隆彦は1960年代初期のネオ・ダダアートの環境から出発し、日本の個人映画草創期に活動を開始した映像作家のひとりである。以 降、スタイルを変えつつフィルム、ビデオ、インスタレーションと領域を拡大し、現在に至るまで国際的に創作活動を持続させている。今回の 上映では初期の映像詩的な作品からメディア批評を込めたビデオパフォーマンス作品まで飯村の主要作品を網羅し作家の全体像に迫る!







ジョン・ケージ・パフォームズ・ジェイムズ・ジョイス

フィルム・ポエムの出発点に立って 7作品82分

IF 9/14 18:30 SP 9/22 18:40 名古屋 11/10 16:30

9/16 21:15

IF 9/20 13:00

処女作『くず』に始まり、ジョナス・メカスから高い評価を得た『Ai (LOVE)』、ブリュッセル国際実験映画祭特別賞を受 賞した『オナン』など様々な手法で独自の映像表現を探求したニューヨーク移住前の初期作品を中心にしたプログ ラム。小杉武久、オノ・ヨーコ、刀根康尚、赤瀬川原平など様々な当時のアーティストとのコラボレーションにも注目。

いろ Ai(LOVE) リリパット王国舞踏会

飯村隆彦/16ミリ(オリジナル8ミリ)/10分/1962/音楽:小杉武久 版村隆彦/16ミリ(オリジナル8ミリ)/12分/1962/音楽:74/東南 飯村隆彦/16ミリ(オリジナル8ミリ)/12分/1962/音楽:オナ・ヨーコ 飯村隆彦/16ミリ/7分/1963/音楽:刀根康尚 飯村隆彦/16ミリ/12分/1964/サウンド:小杉武久、飯村隆彦 飯村隆彦/16ミリ/オリジナル8ミリ)/15分/1981/サウンド:飯村隆彦

間: 竜安寺石庭の時/空間 飯村隆彦/16ミリ/16分/1989/音楽:小杉武久

♣️ ティーチ・イン 飯村隆彦 9/22 18:40の回

見る―見られるビデオ 8作品86分

飯村はニューヨークにおいてコンセプチュアル・アートの影響を受け、60年代後半からビデオ・アートへと制作領域を広げ るとともに、ビデオの構造を映像と言語の双方において探求している。特に代表作『オブザーバー/オブザーブド』、『これ はこれを撮影するカメラである』などでメディアを介して「見る・見られる」関係を映像と言語の関係において作品化した。

椅子 アイ・ラブ・ユ-私があなたを見るようにあなたは私を見る 私は見える(見えない)

飯村隆彦/ビデオ/5分/1970/サウンド 飯村隆彦/ビデオ/5分/1973-87/サウンド・飯村隆彦、飯村昭子

販村隆彦/ビデオ/20分/1976 飯村隆彦/ビデオ/20分/1976 飯村隆彦/ビデオ/20分/1976 飯村隆彦/ビデオ/20分/1975/出演飯村隆彦、安田和代 飯村隆彦/ビデオ/19分/1976/出演飯村隆彦、安田和代 飯村隆彦/ビデオ/5分/1982-95/出演:飯村隆彦 飯村隆彦/ビデオ/7分/1990-97/出演:飯村隆彦 飯村降彦/ビデオ/5分/2003/出演:飯村降彦

┗️ ティーチ・イン 飯村隆彦 9/20 13:00の回

フィルムを分析する 2 ノ1 ハー 6作品91分

9/16 18:30 9/20 10:30

映画/フィルムの構造へと関心が移っていく1960年代後半のニューヨーク時代の作品を中心にプログラム。 フィルム作品の最小単位である1コマにフォーカスしたミニマリズムの極致『1秒24コマ』など、後年のビデオ作品 にもつながるメディア論的作品は今なお強烈な印象を観客に与える。メカス、ブラッケージなど様々な実験映画作 家を本人の作風を模した手法で撮影した『フィルムメーカーズ』は歴史的に貴重なポートレート集でもある。

ホワイト・カリグラフィ カメラ・マッサージ フラワーズ フィルムメーカーズ フィルムストリップスI, Ⅱ 1秒24コマ 飯村隆彦/16ミリ/11分/1967/サイレント 飯村隆彦/16ミリ/6分/1968/サウンド・飯村隆彦 飯村隆彦/16ミリ/12分/1968-1969/サウンド・飯村隆彦 飯村隆彦/16ミリ/28分/1969/サウンド・飯村隆彦 飯村隆彦/16ミリ/22分/1966-1970/サウンド飯村隆彦 飯村隆彦/16ミリ/12分/1975-1978/サウンド・飯村隆彦

┗️ ティーチ・イン 飯村隆彦 9/16 18:30の回

パフォーマンスするビデオ 4作品91分

9/17 18:30

飯村はパフォーマンス映像も多く撮影しているが、撮影する行為は飯村にとってパフォーマンスそのものである。 このプログラムでは『セルフ・アイデンティティ』、日本未公開の『ARパフォーマンス「あいうえおん」』の「映像と言語 |をテーマとする2作品と、ジョン・ケージによるジェイムズ・ジョイスの言語的なパフォーマンスと60年代のフルク サスの記録(91年に再演)という歴史的パフォーマンスを収録した2作で構成している。8ミリに始まりAR(拡張 現実)に至った飯村隆彦の今後の展開やいかに!?

セルフ・アイデンティティ 飯村隆彦/ビデオ/39分/1972-74/出演:飯村隆彦 ジョン・ケージ・パフォームズ・ジェイムズ・ジョイス 飯村隆彦/ビデオ/15分/1985/出演:ジョン・ケージ フルクサス・リプレイド 飯村隆彦/ビデオ/30分/1991/出演:フルクサス・アーティスト多数 ARパフォーマンス「あいうえおん」(収録版) 飯村隆彦/デジタル/7分/2012/出演:飯村隆彦

● ティーチ・イン 飯村降彦 9/20 15:45の回

特別企画1

アヴァンギャルドを想像する:1960年代台湾における映画の実験

抑圧的な政治状況下にあった戒厳令下の1960年代台湾にもアヴァンギャルド映画の ムーブメントがあった。主に欧米で出版されたアヴァンギャルド/実験映画についての記 事を読み、刺激を受けた若き映画作家たちや知識人が、自分たちなりに「アヴァンギャル ド」のコンセプトを創造し、独自の実験を映画館や演劇スペースで行った。これまでまとも に顧みられることなく、多くが散逸したこれらの映像作品を上映する。台湾国際ドキュメンタ リー映画祭が数年かけ収集・修復してまとめあげた回顧プログラム。全プログラムにウッ ド・リン(台湾ドキュメンタリー映画祭プログラム・ディレクター)による上映作品解説あり。

提供:台湾国際ドキュメンタリー映画祭 協力:台湾国家映画センター×Taiwan Docs

TIDE TAIWAN INTERNATIONAL DOCUMENTARY FESTIVAL





1963-66年 4作品62分

●◎ ティーナ・1 ウッド・リン

●◎ ティーナ・1 ウッド・リン

9/17 15:45

● ティーチ・イン ・ ウッド・リン



1938年中国に生まれのチェン・ヤオチーは、1945年に台湾に渡 り、アメリカのUCLAなどで映画の教育を受け、台湾帰国後に中 国語映画の商業映画監督として成功した。

本プログラムはチェンのUCLA時代に制作されたペインテッド・ア ニメーション『后羿、日を射る』や台湾初のシネマ・ヴェリテと言える 『劉必稼』などを上映。

射手

チェン・ヤオチーの学生映画

后羿、日を射る 歳月を通じて 劉必稼

チェン・ヤオチー/16ミリ(デジタル版)/5分/1963(台湾) チェン・ヤオチー/16ミリ「デジタル版)/11分/1966(台湾) チェン・ヤオチー/16ミリ(デジタル版)/19分/1966(台湾) チェン・ヤオチー/16ミリ(デジタル版)/27分/1967(台湾)

1960年代の短編実験映画1 8作品70分





金馬奨受賞監督のパイ・チンジェエイ、画家のハン・シァンニン 写真家のチャン・リンとジャン・チャオタン、デザイナーのロン・シーリアンのグループの短編映像作品を集めたプログラム。この5人の 活動時期は短いが、その後それぞれの分野で大きな影響を与える 存在となった。

流離

ペード・アンジェエイ/35ミリ(デジタル版)/サイレント/20分/1964(台湾) ハン・シァンニン/8ミリ(デジタル版)/サイレント/4分/1965(台湾) ハン・シァンニン/8ミリ(デジタル版)/サイレント/5分/1966(台湾) ジャン・チャオタン/8ミリ(デジタル版)/サイレント/4分/1966(台湾) 台北の朝 現代詩展 '66 ンヤン・ナイタン/ 85リ(デンタル版) / サイレント/ 4分/ 1966(台湾) チュウ・カンチェン/16ミリ(デジタル版) / サイレント/ 19/ 1966(台湾) ジュアン・リン/16ミリ(デジタル版) / サイレント/ 14分/ 1967(台湾) ジュアン・リン/16ミリ(デジタル版) / サイレント/ 1967(台湾) ロン・シーリアン/8ミリ(デジタル版) / サイレント/8分/ 1967(台湾) 流離 人生は続く 赤子 祭りの進備

言えなかったよ 2作品97分



IF 9/18 10:30



香港ホラー映画の巨匠ムー・トンフェイは、台湾初のインディペンデ ント映画と言える『言えなかったよ」と『トラックの終わり』の2作を監 **督している。賭博清けの父の借金返済のために働く少年の物話で** ある『言えなかったよ』は、エドモンド・デ・アミーチスの小説「クオーレ」 を原案としていると言われている。オリジナルのプリントが消失して しまったため、現状残っているこのバージョンは、台湾政府のプロパ ガンダに無理に合わせるため、突然の終幕となってしまっている。

言えなかったよ リチャード・チェン/16ミリ(デジタル版)/19分/1966(台湾) ムー・トンフェイ/35ミリ(デジタル版)/78分/1969(台湾)

1960年代の短編実験映画2 5作品95分



季刊「演劇」は1960年代の台湾実験演劇において非常に重要 だったが、雑誌に関係する作家も先駆的な実験映像作品を残して いる。シーシーとロー・カーはこの雑誌の編集人であった人物。ホァ ン・ホァチェンはこの雑誌の共同設立者で、60年代の台湾実験演 劇・映画における中心人物だった。ホァン・ホァチェンの作品は多く が失われており、「実験002」は彼の1994年の上映会の記録、 『預言者』はホアン・ホアチェンの脚本を再構成したものである。

預言者

銀河系 ルーナン 太極拳 シーシー/16ミリ(デジタル版)/2分/1968(香港) ロー・カー/16ミリ(デジタル版)/19分/1969(香港) トム・デーヴンボート/16ミリ(デジタル版)/10分/1969(アメリカ) ホアン・ホテェン/ビデオ/39分/1994(台湾) ス・ユーシェン/デジタル/25分/2016(台湾)

トラックの終わり 1作品91分



9/19 10:30 親友を事故で亡くした青年が、孤独のため苦しむ。 関係が同性愛を連想させたため本作は政府に上映禁止とされ た。失意のうちに台湾を離れたムー・トンフェイは、やがて香港の ショウ・ブラザーズに入社し、そこで主にホラー中心の作品を手が

線路の行き先

線路の行き先 ムー・トンフェイ/35ミリ(デジタル版)/91分/1970(台湾)



アジア・エクスペリメンタル・フィルム・フェスティバル・ミーティング

地理的にも、上映される文脈においても多様に広がっている現代の実験映画/エクスペリメンタル・フィルム。日本では1960年代以降エクスペリメンタル映像文化が脈々と続いて きたが、その存在の役割や内容は、当然現在において変容している。元々は欧米発の思考的アプローチである「エクスペリメンタル映画」。アジアでは2000年代以降アート映像を 巡る状況が大きく変容し、新たな作家や映画祭が次々と生まれた。アジアそれぞれの地域においても意味合いが異なる「エクスペリメンタル映画」を改めて捉え直し、上映とシンポ ジウムを通して新しい映像表現の可能性を模索する。韓国・中国・インドネシア・シンガポール・ベトナム・マレーシア・タイ・フィリピン、それぞれの地域で注目の活動を行なっている組 織の代表が一堂に会す本邦初の試み。上映にはそれぞれの組織の代表者も登壇予定。

助成:国際交流基金アジアセンター アジア・文化創造共同助成(Q1~Q7) ASIA center

(すべて中国)

東アジア文化都市2019豊島パートナーシップ事業(Q8) 「イメージフォーラム・フェスティバル2019 in豊島」



中国 ジョウ・タオの映像 トポグラフィー



中国・広州において2010年にオープンしたタイムス・ ジアムは、地域住民参加を特に重視する現代 美術館である。集合住宅の一部を改築したレム・コ 天州間はの30。実もほせり一部を以来したレムコールハースのデザインによる独特なスペース内での展示企画や、ワークショップ、レクチャーを開催する一方、それらの活動の延長線上として映画の上映を行う。 2017年に映画法が改正され、インディペンデント映 画の上映はそれまで以上に政治的に難しい状況に追 い込まれた中国において非常に貴重な存在であるタ イムス・ミュージアムが所蔵する広州出身の注目ア ティスト、ジョウ・タオの映像作品集を上映。 ション:パン・シミン (タイムス・ミュージアム、アソ

シエイト・キュレーター/広州、中国) リアリティの後 ジョウ・タオ/デジタル/15分/2013 青と赤 ジョウ・タオ/デジタル/25分/2014 世俗の洞 ジョウ・タオ/デジタル/48分/2017

№ ティーチ・イン パン・シミン

ベトナム 2 未来の記憶 7作品76分

IF 9/18 15:45



ハノイ・ドックラボは、ベトナムの映像作家やメディア・ ティストの新たな世代を育成する目的で2009年 に設立されたドキュメンタリー映画とエクスペリメンタ ル・フィルムのためのセンターである。上映に加えて、 ディスカッション、映画制作や編集のワークショップな どを定期的に行っている。また、ハノイ・ドックフェスという映像祭を主催し、ドキュメンタリーとフィクション、 ナラティブと抽象とポエトリーがクロスオーバーする作品を主として積極的に紹介している。

...___。、 เราะหมาะ คาาบ (いる。 キュレーション・グエン・チン・ティ(ハノイ・ドックラボ設立者/ディレクター)

その日の思い出 チューン・コントゥン/デジタル/1分/2019 家屋建築の悲劇 タ・ミン・ドッック/デジタル/3分/2017 ある歪んでいく象徴のボートレート-遺失物 チューン・コン・トゥ /5分/2017

ン/ テンダル/5分/2017 怠惰な歌を歌え シウ・ファム/デジタル/6分/2019 夏**のシエスタ:夜明けから6時間** グエン・ハイ・イエン/デジタル

/14分/2017 井の中の火星 チューン・シン・クイ+フレディ・ナドルニー・**ブーシ** キン/デジタル/19分/2014 11人の男 グエン・チン・ティ/デジタル/28分/2016 (すべてベトナム)

♥ ティーチ・イン グエン・チン・ティ





インドネシアのバリ島で2002年に設立された短編映 画上映団体であるミニキノは、マンスリー上映とディス カッションのプログラムを行う団体。それに加え、野外上映と30席未満のマイクロシネマの会場のみで行われる 映画祭「ミニキノ・フィルムウィーク」を毎年10月に開催 している。「短編映画は短編小説や詩と同じで、独自の 表現媒体である」という考えのもと、実験映画を積極的 にプログラミングしている。

ュレーション:フランシスカ・プリハーディ(ミニキノ・プロ グラム・ディレクター)

果物への暴力 ティンティン・ウリア/デジタル/3分/2000 ヒトデは狂っている エド・ウリア+カチール・ドゥニア・ke3/デジタ

果物への乗が、パンペート 比下は狂っている エドウリア・カチールドゥニア・ke3/アンタル/3分/2002 とから来たっている エドウリア・デジタル/2分/2003 100の微笑み リドファルディアント・デジタル/3分/2005 ジュリーランド・アン・ルディアント・デジタル/3分/2005 ジュリーランド・アン・ルディアント・デジタル/5分/2010 とっちのナイフから ボール・アウスタ/デジタル/5分/2011 とうのナイフから ボール・アウスタ/デジタル/5分/2013 ウダール・トンギ・バジャラン・サリン・デジタル/15分/2014 静計さ ウィナト・ブ・デッィ・アデジタル/3分/2015 アンバランスな角、未読の本 ライアン・セバスチャン/デジタル/ 6分/2015 イジェナン ウィナー・ウィジャヤ/デジタル/2分/2018 分類群 ブラセディオ・ウィボウィ・S・ブジタル/6分/2018 ジョケヴィン・ウリスチャン/デジタル/2分/2018 バラカブット ルフィー・ナスティオン/デジタル/11分/2018 バラカブット ルフィー・ナスティオン/デジタル/11分/2018

🎤 ティーチ・イン フランシスカ・プリハーディ

Q6 ダイ 映像 映像の王国 5作品96分 9/19 18:30 . 6 •>\@ -169

2009年に国立のアーカイブとなったタイ・フィルム・ アーカイブは、タイ映画の収集・保存と映画教育を行 う他に、タイ短編映画ビデオ・フェスティバル、サイレ ント映画祭、サラヤ国際ドキュメンタリー映画祭などを開催し、新しいタイの映像アート作品上映の大事な プラットフォームとしても機能している。アピチャッポン 以降の注目されている若手映像作家たちの作品を

ー ハン キュレーション:サンチャイ・チョッティロスセラニー(タイ・ フィルム・アーカイブ副館長)

fff ノンタチャン・ブラコブスック/デジタル/23分/2017 不安の時代 タイキ・サクビシット/デジタル/14分/2013 エンドレス・ネームレス プラトムボン・テストプラティブ/デジタ ル/23分/2014 スーパーバーバラ ブンシー・タントゥロンシン/デジタル/11

/2017

が**ソームスケープ** ワッタナブーム・ラーイスワンチャイ/デジタ ル/25分/2015

● ティーチ・イン サンチャイ・チョッティロスセラニー

Q3 シンガポール エクスペリメンタルな視点: シンガポール短編映画セレクション 8作品71分



_たちの人生の過去と現在

2003年に映像と写真表現のためのアート・スペー としてシンガボールに誕生したオブジェクティフスは上 映だけでなく、展示、トークやワークショップのオーガナ イズも重要視。ドキュメンタリー・アワードやレジデンス・ プログラム、展示スペース利用に対するキュレーター 向けの公募など多層的な活動で注目されている。

ーション:レオン・プイイー(オブジェクティフス写 真映画センター マネージャー/シンガポール国際映画祭プログラム・マネージャー)

あるつまらぬ無神論者のダンス トー・ヒュンピン/デジタル/

あるつまらぬ無神論者のダンス トー・ヒュンビン/ デジタル/ 18分/2019 パースデーケーキ アン・スークーン/ デジタル/2分/2011 5つの木 ネルソン/ デジタル/10分/2017 アニマル・スピリット ダニエル・ホイ/ デジタル/9分/2013 冷たいラーメン カーステン/ デジタル/7分/2010 大ちの人生の過去と現在 / テリー/ デジタル/4分/2016 明かりが消えた エダール・ウン/ デジタル/4分/2016 サイレントライト チェカイ/ デジタル/12分/2015 (オペブシンガボール)

(すべてシンガポール)

№ ティーチ・イン レオン・プイイー

マレーシア 私たちの一部 11作品72分 **IF** 9/19 21:15



アロー・スター・パルス

クアラルンプール・エクスペリメンタル・フィルム・ビデオ &ミュージック・フェスティバル(KLEX)は、2010年に 創設されたアーティストが運営する実験映画と音楽のフェスティバル。KLEXは実験映画・音楽の上映・ライ ブも年間を通して定期的に行い、地域におけるアート・コミュニティーの交流の場の創造を目的としている。 キュレーション:コク・シーワイ(クアラルンプール・エクスペリメンタル・フィルム・ビデオ&ミュージック・フェス ティバルディレクター)

アロー・スター・バルス アンドリュー・スティッフ / デジタル / 5 分/2015(マレーシア・イギリス) 光のない夜 サフワン・サレー / デジタル / 5分/2015 プロチョ・シアラルンプール ロッペイアエン・デジタル / 4分/2017 ブラザ・ラヤット オン・ソーカイ / デジタル / 3分/2018 朝 コウ・シーワイ / デジタル / 4分/2011 破壊の美(愚) ファドリー・サブラン / デジタル / 4分/2018 GARISWAQT FLUX28(タル/KK+ツァ・メーラ) / デジタル / 6分/2018

/2018

/ 0ヵ/ 2016 (?)の視線 クロエ・ヤップ・ムンイー/デジタル/5分/2016 ・レスリー・レオン・リー・ナラティマラー・ゴーヴィンダーラジュー デジタル/9分/2016 :**言ゲーム** チウ・ウィンチェン/デジタル/5分/2018

グメル/ 9カ/ 2010 ゲーム チウ・ウィンチェン/デジタル/5分/2018 プ**ランにおける陽のない一日** アウ・ショウイー/デシ

(22分/2014 (アロー・スター・パルス以外すべてマレーシア)

№ ティーチ・イン コク・シーワイ

フィリピン 政治的実践 としてのエクスペリメンタル 9作品92分 **IF** 9/19 13:00



フィリピン国立大学映画院は、敷地内に800席の大 劇場〈シネ・アダルナ〉を擁し、映画館でかかる全ての映画が検閲を通さなければいけないフィリピンにおい て、大学自治の理念の元、唯一無審査で作品を上映できるスペースである。ヨーロッパやアジアのアート映 画に始まり多様な上映プログラムが毎日提供されてい るが、検閲の通っていない自国のインディペンデント映画や実験映画にとって、上映・育成・交流の場として非 常に重要な拠点となっている。連綿と続くフィリピン実 験映画の伝統に本施設が果たす役割は小さくない。 キュレーション:パトリック・カンポス(映画研究者/フィ リピン国立大学映画院院長)

万華鏡IV アニー・バカーニャ・ルンバオ/デジタル/3分/2019 三つの魅了 ジョン・ラザム/デジタル/13分/2016 ある問い合わせについての記憶 ジャン・ビネダ/デジタル/8 /2014

分/2014 チョップチョップド・ファーストレディ+チョップチョップド・ファーストドーター ヤソン・バナル・デジタル/1分/2005 我6の沈黙の中に アリッサ・スイコ/デジタル/5分/2017 数居 ジェームスレオカディオ/デジタル/11分/2019 ま2ター・リー マイク・デレオン/デジタル/8分/2019 日とは何か? クリスチャン・タブラソン(+カルロ・パコーコーン・デジャル/40/0019

日とは何かく ソリヘフャン・メノノン・ コール) デジタル/16分/2013 深淵の間より キリ・ダレナ/デジタル/27分/2017 (てフィリピン)

№ ティーチ・イン パトリック・カンポス

Q8 韓国 韓国実験映画略史 1969—2013年_____ (FF2019in豊島 9/21 19:00 8作品102分



写真的調査

1980年の光州事件のメモリアル・スペースとして改 1900年の元州等日のテモリアル・スースとして改 禁された光州市の旧道庁舎を中心に、広大な敷地を 持つ複合的芸術センター「国立アジア文化殿堂 (ACC)」。実験映像については2015年よりアジア全 域の作品を収集・保存し、「ACCシネマテーク」として 定期的に上映活動を行う。これまで体系的にほとんど 日本で紹介されてこなかった韓国の実験映画をACC 所蔵作品を中心に上映する。

キュレーション:キム・ジハ(国立アジア文化殿堂シネマ テーク・プログラマー)

24分の1秒の意味 キム・クリム/16ミリ(デジタル版)/10分/1969 24かの1秒の意味 キム・クリム/16ミリ(デッタル版)/10分/1959 ポーパン・オンに(カイド・ウーラブ)/16ミリ(デジタル版)/8/1974 無題フアーA ハン・オクヒ(カイドゥー・クラブ)/16ミリ(デジタル版)/7分/1977 版)/7分/1977 私を超えて イム・チャンジェ/16ミリ(デジタル版)/19分/1996 記憶の多面、表面の記憶 イ・チャンウク/16ミリ(デジタル版)

^ぬティーチ・イン キム・ジハ

※Q8プログラムは「イメージフォーラム・フェスティバル2019 in豊島」(9月21日19:00~ 会場:シネマハウス大塚 cinemahouseotsuka.com)で上映します。

シンポジウム 会場:イメージフォーラム3F「寺山修司」

フェスティバルとエクスペリメンタル・ シネマー今なぜ実験映画なのか? 9/20 11:30

ウッド・リン(台湾ドキュメンタリー映画祭/台北、台湾) コク・シーワイ(クアラルンプール・エクスペリメンタル・フィルム・ビデオ &ミュージック・フェスティバル・ディレクター/クアラルンプール、

パトリック・カンポス(フィリピン国立大学映画院院長/ケゾン・シ ティー、フィリピン)

田坂博子(恵比寿映像祭/東京都写真美術館学芸員/東京、日本)

オルタナティブ映画にとってのプラット フォーム:対抗としての地域性、協働性 9/20 13:30

パネラー

フランシスカ・プリハーディ(ミニキノ・プログラム・ディレクター/デンパ サール・インドネシア) レオン・プイイー(オブジェクティフス写真映画センター マネージャー/シン

ガポール国際映画祭プログラム・マネージャー/シンガポール) グエン・チン・ティ(ハノイ・ドックラボ設立者/ハノイ、ベトナム) パン・シミン(タイムス・ミュージアム、アソシエイト・キュレーター/広州、中国) 櫻井篤史(映像作家、ルーメン・ギャラリー・ディレクター/京都、日本)

R3 エクスペリメンタル再構築:アジアにお ける実験映像のアイデンティティとその 可能性-アジアから何が与えられるか? 9/20 16:30

パネラー

キム・ジハ(国立アジア文化殿堂シネマテーク・プログラマー/光州、韓国) サンチャイ・チョッティロスセラニー(タイ・フィルム・アーカイブ副館長/バンコク、タイ) 高橋律子(金沢21世紀美術館キュレーター/金沢、日本) リスキー・ラズアルディ(ラボ・ラバラバ/ジャカルタ、インドネシア)

イメージフォーラム・フェスティバルは、映像のさまざまな最新表現を通して、これからの芸術表現、メディア環境を含めた社会のあり方について考える場を提供する映像 祭です。国内外の優れた最先端の映像作品の上映、映像作家やキュレーターとの対話やレクチャーを通して、より多くの人に映像を近く・深く触れる機会を創出します。

今年度のテーマは"ラフ&ワイルド"。一見洗練されておらず、既存の評価軸や歴史的文脈で捉えきることができない表現や、最初は周縁的で小さく見える出来事が、 時と場所を超えてやがて大きな意味を持つ、そのような可能性に着目します。2000年代以降目覚ましい勢いで発展しながら、これまで総括的に取り上げられることの なかったアジア圏の個人映像/実験映像を、一つの文化として捉え直す上映およびシンポジウムを行います。また近年世界的に再注目されている70年代のフェミ ニズム関連の映像作品を集めて上映します。

	~~~										
基	见见	9/14[sat]	9/15 [sun]	9/16 [mon]	9/17 [tue]	9/18 [wed]	9/19 [thu]	9/20 [fri]		思思	9/20 [fri]
シア	10:30	D 東アジア コンペティション4 4作品112分	度 東アジア コンペティション5 4作品95分	トリスタイプ	P は	P4 ♣ [∞] 台湾特集 言えなかったよ 2作品97分	P5 台湾特集 トラックの終わり 1作品91分	<b>〇2</b> 飯村隆彦特集 フィルム分析 6作品91分	_	1 11:30	R I アジア・フェス シンボジウム1 90分
アター・イ	13:00	で 東アジア コンペティション3 4作品92分	F   アラビアン・ナイト 第1部 1作品125分	ポルトガルの女 1作品136分	<b>P2 ♣</b> [⊕] 台湾特集 <b>60年代実験映画1</b> 8作品70分	Q   よっ アジア・フェス 中国 3作品88分	アジア・フェス	<b>○3</b> ♣ [©] 飯村隆彦特集 見る見られるビデオ 8作品71分	 	ドジフ リオ   13:30	<b>R2</b> アジア・フェス シンポジウム2 90分
メージフ	15:45	A 東アジア コンペティション1 5作品100分	F2 アラビアン・ナイト 第2部 1作品131分	→ 30歳のとき 世界を廻った 1作品110分	<b>P3 ♣</b> ○ <b>台湾特集 60年代実験映画2</b> 5作品95分	<b>Q2 ♣</b> [©] アジア・フェス ベトナム 7作品76分	Q5 よっ アジア・フェス インドネシア 15作品80分	●4 ♣ [®] 飯村隆彦特集 パフォーマンスするビデオ 4作品86分		3 F 16:30	R3 アジア・フェス シンポジウム3 90分
オ 	18:30	飯村隆彦特集	F3 アラビアン・ナイト	<b>○2</b> ♣ ◎ 飯村隆彦特集	〇4 飯村隆彦特集	<b>Q3</b> ♣ [®] アジア・フェス	<b>Q6</b> ♣ [©] アジア・フェス	K 追悼			
ラム		<b>フィルム・ポエム</b> 7作品82分	<b>第3部</b> 1作品125分	フィルム分析 6作品91分	バフォーマンスするビデオ 4作品86分	<b>シンガポール</b> 8作品71分	<b>タイ</b> 5作品96分	スーザン・ピット 4作品81分	9/21 [sat]	9/22 [sun]	9/23 [mon]
Œ	21:15	<b>G</b> 時間の木 1作品104分	<b>↓</b> ★ 2作品104分	<b>○3</b> 飯村隆彦特集 見る見られるビデオ 8作品71分	N デルフィーヌと キャロル 1作品68分	ジョイス・ ウィーランド 6作品64分	<b>Q7</b> ♣ [□] アジア・フェス マレーシア 11作品72分	M ゴミ箱キッドの 物語 1作品100分	<b>K</b> 追悼 スーザン・ピット 4作品81分	★ 2作品104分	M ゴミ箱キッドの 物語 1作品100分

※Q8プログラムは「イメージフォーラム・フェスティバル2019 in豊島」 (9月21日19:00~ 会場:シネマハウス大塚 cinemahouseotsuka.com) で上映します。 ♥♥ ティーチ・インあり

東京

スパ 1

ラル

朩

JL

SP

10:40

13:20

16:00

18:40

9/20 [fri]

G

時間の木

1作品104分

デルフィーヌと キャロル

1作品68分

東アジア

コンペティション3

4作品92分

9/21 [sat]

東アジア

5作品100分

東アジア

5作品99分

30歳のとき

世界を廻った

1作品110分

ポルトガルの女

1作品136分

コンペティション2

ペティション

9/22 [sun]

東アジア

4作品92分

東アジア

4作品112分

ペティション

東アジア ペティション5

4作品95分

飯村降彦特集

フィルム・ポエム

7作品82分

ペティション





#### 名古屋 愛知芸術文化センター12階 ートスペースA, EF

**∓461-8525** 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 TEL:052-971-5511(代)

地下鉄東山線·名城線栄駅、名鉄瀬戸線栄町駅下車、

_/->-	<b>~</b> √—			
省	古屋	11/8 [fri]	/9 [sat]	
5	11:30		D 東アジア コンペティション4 4作品112分	M ゴミ箱キッドの 物語 1作品100分
愛知芸術文仏	14:00	本 東アジア コンペティション1 5作品100分	E 東アジア コンペティション5 4作品95分	H 30歳のとき 世界を廻った 1作品110分
化センター	16:30	まアジア マンペティション2 5作品99分	<b>G</b> 時間の木 1作品104分	<b>飯村隆彦特集</b> フィルム・ポエム 7作品82分

#### 入場料(消費税込)

#### ■スパイラルホール/シアター・イメージフォーラム

【1回券】一般1,500円/学生800円/イメージフォーラム会員1,100円 【フリーパス】一般10,000円/学生5,000円

シアター・イメージフォーラムは全席指定。8月16日より会期中の全ての回のチケットを、 シアター・イメージフォーラムのオンラインチケット購入サイト、または劇場窓口で販売します。 ※フリーバスは劇場窓口でのみ座席指定が可能です。オンラインでのご利用はできません。

スパイラルホールは、自由席、整理番号制。当日販売のほか、整理番号付きの日時指定鑑 賞券(一般1回券のみ)をチケットぴあで8月16日より発売します。

チケットぴあ TEL:0570-02-9999 Pコード:550-246 ※各プログラムの上映開始15分前に整理番号順で開場します

#### ■イメージフォーラム3F「寺山修司」(シンポジウム)

【1回券】一般700円/学生・イメージフォーラム会員500円 ※当日券のみ。自由席・各回入替制。フリーパスでもご覧になれます

#### ■愛知芸術文化センター

【1回券】一般1,200円/学生800円/イメージフォーラム会員1,000円 【フリーパス】一般6,000円/学生4,000円

※当日券のみ。自由席・各回入替制。各プログラムは上映開始15分前に開場します。

- ★東京会場のフリーパスはシアター・イメージフォーラムとスパイラルホールの両会場で有効です。
- ★東京会場と名古屋会場のチケットは異なります。
- ★若干の上映作品の変更、上映順、上映フォーマットの変更が生じる場合もあります。予めご了承ください。



名古屋

イメージフォーラム・フェスティバル2019事務局 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-10-2 TEL. 03-5766-0116 www.imageforumfestival.com

デルフィーヌと

キャロル

1作品68分

















19:00







ジョイス・

ウィーランド

6作品64分



9/23 [mon]

ラビアン・ナイト

筆1部

1作品125分

ラビアン・ナイ

第2部

1作品131分

ラビアン・ナイ 第3部

1作品125分

授賞式

ジョイス・ウィーラント

6作品64分